

科目名	単位数	対象	必／選	早朝講座
生物	5	3年普通科理系	選択	無
1. 目標 生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する（学習指導要領 生物より）				
2. 到達目標 ① 生命現象を支える物質の働きについて観察、実験などを通して探究し、タンパク質や核酸などの物質の働きを理解し、生命現象を分子レベルでとらえることができる。 ② 生物の生殖や発生について観察、実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを理解する。 ③ 環境の変化に生物が反応していることについて観察、実験などを通して探究し、生物個体が外界の変化を感知し、それに反応する仕組みを理解する。 ④ 生物の個体群と群集及び生態系について観察、実験などを通して探究し、それらの構造や変化の仕組みを理解し、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識する。 ⑤ 生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について、観察、実験などを通して探究し、生物界の多様性と系統を理解し、進化についての考え方を身に付ける。				
3. 学習のワンポイントアドバイス ① 履修済みの「生物基礎」の内容を十分に理解しておく。 ② 授業の前には、教科書を一読し、用語や図を確認する。 ③ 授業では、講義をしっかりと聞き、わからない点があれば、すぐ質問し解決する。 ④ プリントやノートはきちんと整理し、自分なりに工夫してまとめる。 ⑤ 学習内容が多いので、1時間あたりの進度が早い。学習した内容を定着・発展させるためには、家庭学習で「問題集」を活用した演習を行い、復習をすること。 ⑥ 教科書にでてくる図・グラフ等は、自分で実際に描いて理解する。 ⑦ 資料集は学習内容の理解を深める優れた教材である。時間を見つけて読み込むこと。				
4. 評価の方法 定期考査、小テスト、実験実習レポート、各種の課題、授業態度、勤怠状況等を総合的に評価する。				
5. 使用する教科書・副教材 教科書： 改訂版 生物（数研出版） 副教材： 三訂版 リードライトノート 生物（数研出版） ： 九訂版 スクエア最新図説生物 neo（第一学習社）				
6. 進路とのかかわり ○共通テストでは、理系学部学科の中には生物の選択を義務づけたり、逆に選択できない場合がある。大学の募集要項で必ず確かめること。 ○理学部・医学部・農学部・工学部（一部）・教育学部（理数系）の個別学力試験で必修または選択科目として指定される。				